

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第3巻第51号

第51週(12月15日～12月21日)

発行年月日:平成15年(2003年)12月26日

発行:滋賀県立衛生環境センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

\* 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律及び検疫法の一部を改正する法律が平成15年11月5日から施行されました。

### 1) 全数報告の感染症(1類～5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (51週)	累積報告数		平成14年報告数	
			滋賀 (51週)	全国 (51週)	滋賀	全国 <sup>(*)</sup>
1類感染症 <sup>(*)</sup>	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	6	448	6	693
	パラチフス	0	0	38	1	33
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	8	2606	14	3132
4類感染症	エキノкокクス症	0	0	17	1	9
	オウム病	0	1	42	0	55
	ツツガムシ病	0	1	333	0	329
	レジオネラ症	0	1	140	1	166
5類感染症	アメーバ赤痢	0	3	494	6	453
	ウイルス性肝炎	0	3	629	2	915
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	3	109	2	146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	51	1	90
	後天性免疫不全症候群	0	8	918	6	888
	梅毒	0	2	480	4	561
	破傷風	0	1	68	0	105
急性脳炎 <sup>(*)</sup>	0	0	1	3	107	

(\*) 平成14年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

(\*) 感染症法の改正により、重症急性呼吸器症候群(SARS)、痘そうが追加されました。

(\*) 平成14年報告数は、感染症法の改正前の報告数です(定点把握の対象となる4類感染症)。感染症法の改正前(平成15年第45週まで)の累積報告数は、滋賀県 0件、全国 97件です。

### 2) 定点把握の対象となる5類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0.68	2.64	0.10	0	0.75	0	0	0	51週
RSウイルス感染症	0.50	0	2.67	0	0	0	0	0	50週
咽頭結膜熱	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0	51週
A群溶連菌咽頭炎	0.97	0.43	1.67	0	0.80	1.50	1.75	0.50	51週
感染性胃腸炎	9.50	12.86	21.00	4.50	3.80	7.75	1.75	6.50	51週
水痘	1.59	2.43	1.67	0.25	0.80	1.25	1.00	5.00	51週
手足口病	0.16	0	0.17	0.25	0	0	0.75	0	51週
伝染性紅斑	0.22	0.43	0.17	0.25	0	0	0.50	0	51週
突発性発疹	0.78	1.00	0.83	0.50	0	0	2.25	1.00	51週
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	51週
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	51週
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	51週
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	51週
流行性耳下腺炎	0.34	0	0.83	0	0.40	0	0	2.00	51週
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	51週
流行性角結膜炎	0.29	0	0	0	0	2.00	0	0	51週
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	51週
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	51週
マイコプラズマ肺炎	0.57	0	0	0	0	0	4.00	0	51週
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	51週
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	51週

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12  
定点当たり患者数

### 3) 今週のトピックス

#### 感染性胃腸炎の発生は減少傾向のきざし RSウイルス感染症の発生は増加傾向持続

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週の患者報告数より減少しています。疾患別の定点当たり患者数を先週と比較すると、RSウイルス感染症、インフルエンザ、突発性発疹等の定点当たり患者数が増加しており、感染性胃腸炎、水痘、流行性耳下腺炎、流行性角結膜炎、マイコプラズマ肺炎等の定点当たり患者数は減少しています。

**インフルエンザ**については、先週にひき続き増加し定点当たり患者数は0.68となっています。特に、**大津保健所管内**においては2.64と多くなっています。

**RSウイルス感染症**については、第47週から報告数が少しずつ増加しており、今週の定点当たり患者数は0.50となっています。

**感染性胃腸炎**については、先週の定点当たり患者数 11.16より減少し9.50となっていますが、**草津保健所管内**の定点当たり患者数は21.00と多くなっており、今後の発生状況に注意する必要があります。

**水痘**については、先週より減少し定点当たり患者数は1.59となっていますが、**今津保健所管内**の定点当たり患者数は5.00と多くなっています。

**マイコプラズマ肺炎**については、先週の定点当たり患者数より減少し0.57となっていますが、**昨年**の同時期と比較するとやや多くなっています。

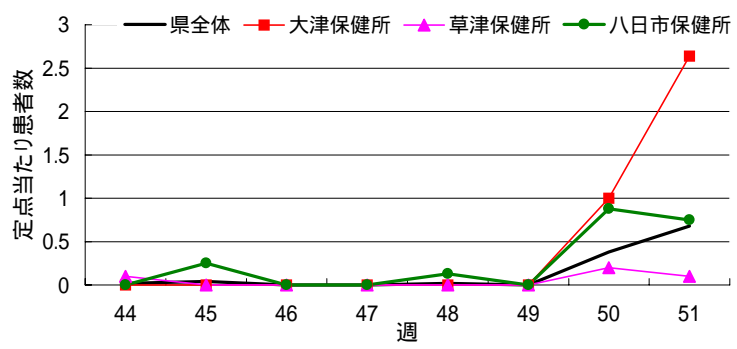
インフルエンザの週別・保健所管内別発生状況および都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況は下記のグラフのとおりです。

#### インフルエンザの週別・保健所管内別発生状況(平成15年第44~51週)

今シーズン(2003/04シーズン)は、平成15年第44週に草津保健所管内で患者の発生があり、その後、徐々に増加しています。第50週および第51週については、大津保健所管内において患者の発生が増加しています。

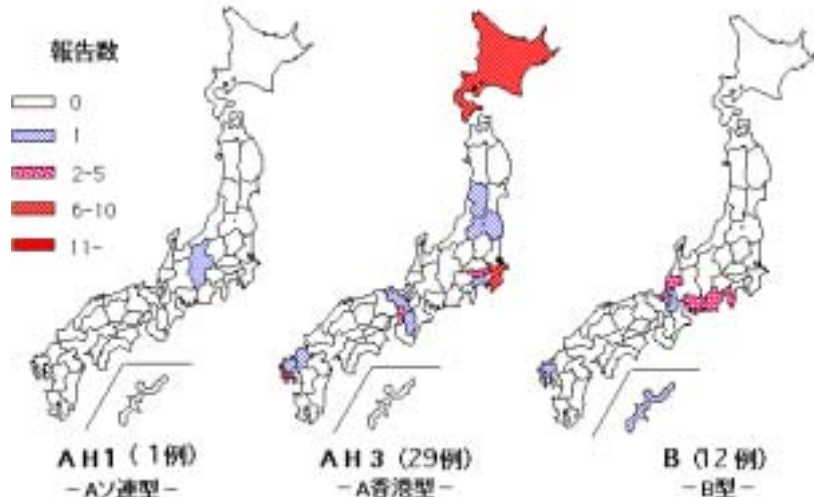
昨シーズン(2002/03シーズン)の同時期の定点当たり患者数 5.42と比較するとかなり少ない状態ですが、今後の発生状況に注意する必要があります。

#### インフルエンザ



#### 都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2003/04シーズン

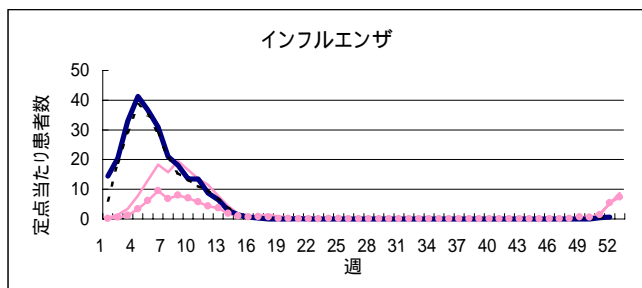
(病原微生物検出情報: 2003年12月22日現在報告数より、各都道府県市の地方衛生研究所からの報告数)



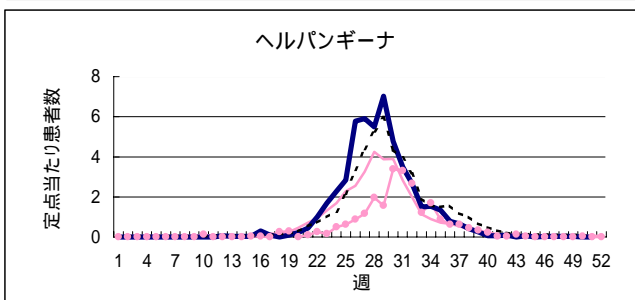
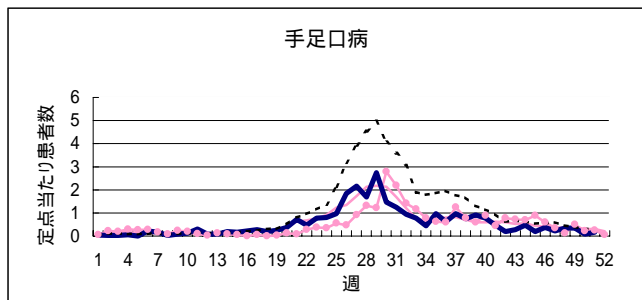
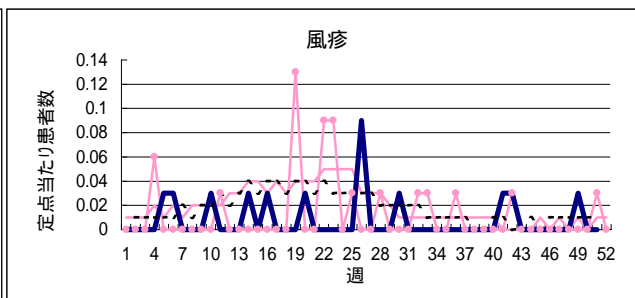
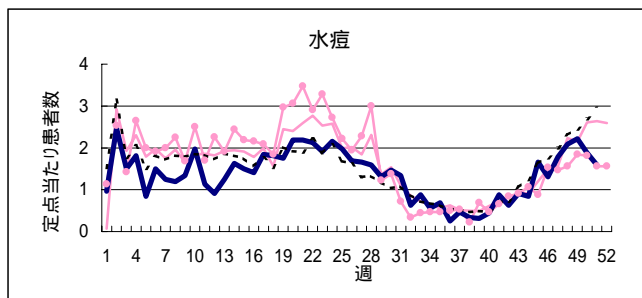
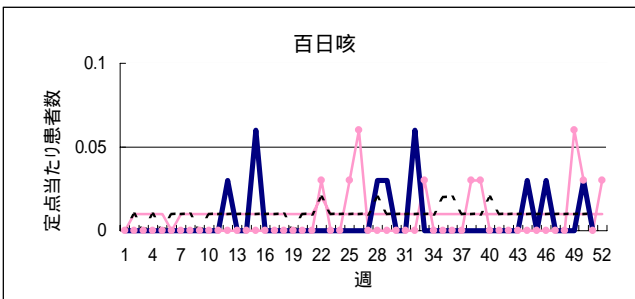
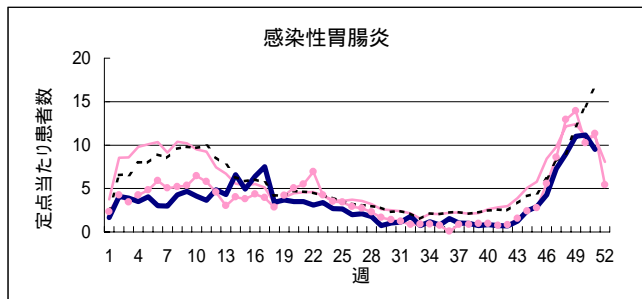
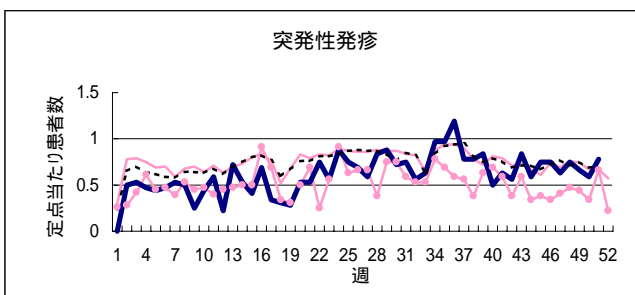
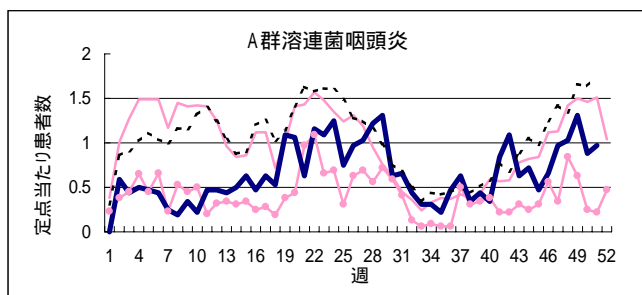
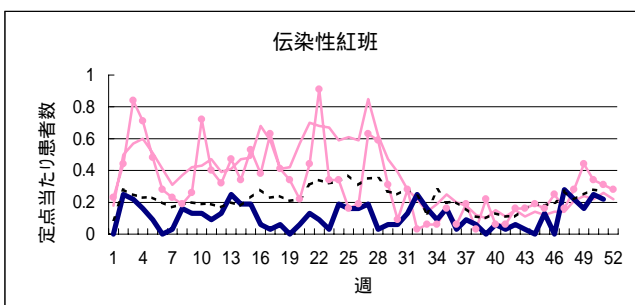
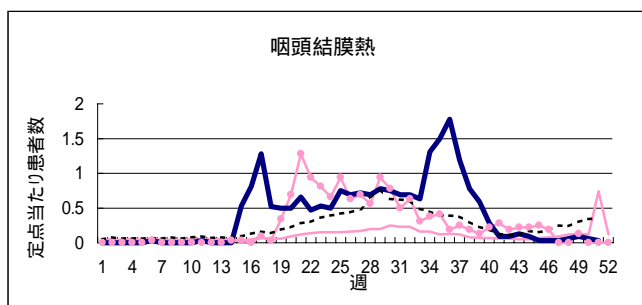
今シーズンのインフルエンザの発生状況は、まだ、本格的な流行にはなっていませんが、これまでに確認されているインフルエンザウイルスとしてはAH3型(A香港型)が多く報告されています。

また、少ないですがB型、AH1型(Aノ連型)も報告されています。AH1型は、長野県で検出されました。

# 疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第51週)



H14 〔 滋賀 (pink solid line)  
 全国 (pink dashed line)  
 H15 〔 滋賀 (blue solid line)  
 全国 (blue dashed line)



# 疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第51週)

H14 〔 滋賀 ●●●●●● 全国 ○○○○○○  
 H15 〔 滋賀 ———— 全国 - - - - -

